

定後、本部の意向に沿い、平成29年11月の関東同窓会の総会で多くの反対意見が出たが、他支部とは1年遅れで平成30年度から本部の「運営協力金」に協力することが承認された。

赤池典充

これまでは、毎年会員より約40万円、本部より20万円の約60万円で運営していましたが。現在は、本部からの運営資金40万円での運営となり、大幅な減額で新たな工夫が必要となりました。

司会

運営費の問題は、今後のビジョンにも直結すると思いますが、若い世代のご意見も交えて、こからの同窓会の活動について、ご意見を伺いたいと思います。



上田 寛(高55)

上田

現実問題として、高校を卒業してからは同窓会員であるという意識が生まれにくいと思います。僕の場合は、はがきも届きませんでした。

赤池典充

学生は、平成20年の総会の時には、12名参加しました。そこで、里見会長が大学1年生を対象にした「新会員歓迎会」を来年から行おうと企画しました。卒業式の前に、3年生の各学級に案内状を配付しました。期日は、関東での生活や大学での学習面等で不安を抱える頃の6月の第一土曜日に行くことにしました。21年6月には3名の学生が参加しました。その後も毎年、案内状を卒業式前に配付しましたが、学生からの連絡があり

ませんでした。平成24年には、教職を目指す大学3年生から連絡があり、大学教授、元教員、現任教員と進路についての相談会を行いました。それを最後に学生からの連絡はなくなりました。その後は、関東の総会の案内も含めて学級に配付していただきましたが、「新会員歓迎会」への連絡はなくなりました。学生の総会参加者は、平成23年に8名でしたが、最近では0、3人です。今、個人情報の問題があり、本部の卒業生名簿にも連絡先記載を希望しない人が多く、会員への連絡が困難な状況です。

赤池典充

私はあるときハガキがきて、「行ってみよかな。」と思ったのがきっかけです。

赤池典充



理事
川村 洋子(高39)

川村

本部の段階で何とか多くの同窓生の情報を集めてもらいたいです。

本多

本部で年一回、支部連絡協議会を行うようになりまし。これからは、今後に向けた協議内容の充実が大切です。

赤池典充

就職や仕事上の悩みについて、先輩から後輩へ情報を提供したり、相談会のようなことを行ったりしたこともありましたが、今は、若い世代の住所自体が分からないので参加者を募ることが難しいです。他校の同窓会で、スマホやネットを活用している例があるのですが、中継地としてのキーパーソンを何人か決めて、グループ単位で発信しているようです。

上田

僕の場合は、同窓生の方とFacebookでつながることがあって、そこで誘われたのがきっかけで同窓会に顔を出すようになりました。

赤池典充

今後の希望といえば、同世代がどれだけ集まるかということです。ビジネスビジョンでも見えています。羽咋とどれくらい繋がるかができるかという観点で、上の世代の方々の考えを知る機会も減多にないです。

赤池典充

一度同窓会に参加しても、同級生が少ないと、次回また来ようという気持ちになりません。

川村

私はいつも裏方に回ってしまっていますが同窓会でもいつの間にかそうなっていて、裏方は裏方で楽しいのですが、義務感というか何か違うなという気もしています。

赤池清

楽しみたいという気持ちより、もてなしたいという気持ち先にするからね。

司会

参加していただいた方に、「来てよかったです」と思って頂きたいですからね。

本多

同窓会として、教育の問題を含めて、羽咋高校に何か提案できるような働きも大切であると思います。年に一回ですが連絡会で発言の場ができたことはいいことです。

司会

そういう運営の問題と、同窓会組織として同世代の横の繋がりと先輩と後輩の縦の

繋がりをどう充実させていくかが、今後の課題ですね。

上田

今は一方的な情報伝達なので、これからはスマホなどを利用して同窓生を情報に引き付ける必要があります。同窓生が、あえてホームページを開くということは、期待できません。若い世代を集めるなら、一斉送信など伝達の方法を考えて、いかに情報を開いてもらえるかということを工夫した方がいいです。実際に同窓会がどんな活動をしているか分からないと行きづらいです。



事務局長
赤池典充(高27)

赤池典充

私は、卒業30周年記念同窓会の連絡があり「おお、同窓会があったのか」という気持ちになるきっかけとなりました。

川村

私は同窓会に行く前、なんだか怖かったです。

赤池典充

部活動などの繋がりと行きやすいですね。

司会

では、部活動や同級生などといったもろの繋がりを含めて、同じ場所で学んだ者として絆をどのようにつけていくかということをもとめていただきたいです。

赤池典充

関東で頑張っている同窓生がたくさんいるわけですから、年に一度は集まって旧交を温め、新しい繋がりを作りましょう。一声かければ集まるものではないので、時代

(次ページに続く)

に合った努力が必要です。とても難しいですが、連絡が取れるように努力するしかないです。

では、最後に倉部名誉会長と本多会長に、60周年に思いを込めて、座談会を締めくくっていただきたいと思えます。

倉部

集団は、一人ひとりの思いが集まってできていくわけですが、組織として最初からがっちり固めてしまうと、動きにくくなると思えます。「ふるさと」というものは、遠くから見るとよく見えるもので、そういう意味で、何かの提案も同窓会を通じてできると思えます。まずは、行動して試行錯誤を繰り返しながら方向を定めていくことが大切

本多

「大切な教育をサポートする役目としての同窓会」。我々自身が考える事柄も多々あるのでは…。

60周年の今年の総会にこの事柄を考える語らいをやりましょう。そして、今後、本部、各支部と連携をとり、力を合わせて「人生謳歌」の同窓会へ、羽高発展に寄与していこう。

司会

羽咋高校として受け継いでいくものと、時代に応じた新しい繋がり方を行動しながら見出してゆくということですね。本日の座談会も行動の一つとして、意義あるものということになります。今後とも、よりよい同窓会活動を目指して、みなさんよろしくお願ひします。

本日はありがとうございました。

【羽咋高等学校 関東同窓会 役員の変遷】

昭和34年 11月 関東支部設立総会
 支部長 室野 昶二 (中1)
 副支部長 桜井 基綱 (中3)
 萩山 教巖 (高4)
 森田 君代 (女11)

昭和39年 12月 (本部同窓会名簿)
 支部長 牧野 康平 (中1)
 副支部長 浅野 三郎 (中5)
 泉 和正 (中8)
 吉岡三ツ枝 (女1)
 条屋 栄子 (女14)

昭和47年 2月 (本部同窓会名簿)
 支部長 泉 和正 (中8)
 副支部長 廣島 豊 (高4)
 藤沢 彰 (高3)
 三星 静子 (女1)

昭和54年 3月 (本部同窓会名簿)
 支部長 泉 和正 (中8)
 副支部長 廣島 豊 (高4)
 西井 信夫 (高2)
 加藤 弘三 (高3)

昭和59年 6月 (本部同窓会名簿)
 支部長 泉 和正 (中8)
 副支部長 磯部 庄資 (中19)
 本吉 隆二 (高2)
 太田百合子 (女10)
 繁田 尚子 (高5)
 赤池 清 (高20)

平成元年 (本部同窓会名簿)
 支部長 泉 和正 (中8)
 副支部長 池田 皓 (中16)
 久保 栄治 (中16)
 倉部 行雄 (中18)
 磯部 庄資 (中19)
 北島 健一 (中21)
 太田百合子 (女10)
 大出 榮子 (女14)
 本吉 隆二 (高2)
 繁田 尚子 (高5)
 足津平八郎 (高6)

平成6年 (本部同窓会名簿)
 支部長 古池 國雄 (中11)
 副支部長 池田 皓 (中16)
 倉部 行雄 (中18)
 磯部 庄資 (中19)
 牛屋 恭平 (中20)
 北島 健一 (中21)
 大出 榮子 (女14)
 中田 愛子 (女15)
 本吉 隆二 (高2)
 足津平八郎 (高6)

平成16年 11月13日 (総会)
 会長 竹宮 隆 (高5)
 副支部長 小俣 俊子 (高6)
 足津平八郎 (高6)
 里見 忠篤 (高8)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 本多 群司 (高16)

平成17年 11月12日 (総会)
 「関東支部」から
 「関東同窓会」に名称変更
 会長 竹宮 隆 (高5)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 足津平八郎 (高6)
 里見 忠篤 (高8)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 本多 群司 (高16)

平成18年 11月11日 (総会)
 会長 竹宮 隆 (高5)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 藤岡 玲子 (高7)
 里見 忠篤 (高8)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 本多 群司 (高16)

平成20年 11月1日 (総会)
 会長 里見 忠篤 (高8)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 磯見 敏毅 (高15)
 本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)

平成22年 11月6日 (総会)
 会長 里見 忠篤 (高8)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 磯見 敏毅 (高15)
 本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)

平成20年 11月1日 (総会)
 会長 里見 忠篤 (高8)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 磯見 敏毅 (高15)
 本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)

本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)

平成22年 11月6日 (総会)
 会長 里見 忠篤 (高8)
 副会長 小俣 俊子 (高6)
 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 山上 徹 (高14)
 磯見 敏毅 (高15)
 本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)

平成24年 11月10日 (総会)
 会長 山上 徹 (高14)
 副会長 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 本多 群司 (高16)
 平田 康郎 (高17)
 赤池 清 (高20)
 轟 暁子 (高20)
 山川 富雄 (高25)

平成26年 11月15日 (総会)
 会長 山上 徹 (高14)
 副会長 藤岡 玲子 (高6)
 井上 猛 (高12)
 本多 群司 (高16)
 犬塚 清美 (高19)
 赤池 清 (高20)
 轟 暁子 (高20)
 山川 富雄 (高25)
 吉本 政子 (高27)

平成28年 11月15日 (総会)
 会長 本多 群司 (高16)
 副会長 犬塚 清美 (高19)
 浮田 學 (高19)
 赤池 清 (高20)
 轟 暁子 (高20)
 山川 富雄 (高25)
 吉本 政子 (高27)
 赤池 典充 (高27)
 永島 和人 (高32)

平成30年 11月10日 (総会)
 会長 本多 群司 (高16)
 副会長 犬塚 清美 (高19)
 浮田 學 (高19)
 赤池 清 (高20)
 轟 暁子 (高20)
 山川 富雄 (高25)
 赤池 典充 (高27)
 池田 朗 (高31)
 永島 和人 (高32)

【これまでに講演された方々】 (※注)

平成10年 杉 紀彦氏 (高9) 放送作家
 " 新川二朗氏 (高10) 歌手

平成11年 竹宮 隆氏 (高5)
 筑波大学教授

平成12年 坂庭(貫) 行子氏 (併女2)
 仁愛女短大客員教授

平成14年 池田 皓氏 (中16)
 東特塗料 会長

平成15年 山下 薫氏 (中19)
 高等裁判所 判事

平成16年 里見忠篤氏 (高8)
 東京電機大学名誉教授

平成17年 西井信夫氏 (高2)
 不二技研 社長

平成18年 前田利祐氏
 (前田家18代当主)

平成19年 福野勝彦氏 (高14)
 作家・エッセイスト

平成20年 辻口博啓氏
 (パティシエ)

平成21年 末吉 勇氏 (高7)
 元NHK勤務

★平成21年3月 甲野善勇氏 (中6)
 日本短波放送会長

★平成21年9月 前多永憲氏 (高18)
 平成22年 芝田勝茂氏 (高19)
 児童文学作家

★平成23年9月 倉部行雄氏 (中18)
 防衛庁装備局長

★平成24年9月 室矢芳隆氏 (高1)
 オリンピック出場2回

平成24年 吉岡 亨氏 (高6)
 早稲田大学名誉教授

平成25年 高野誠鮮氏 (高26)

平成27年 諏訪綾子氏 (高47)
 フードアーティスト

平成28年 新川二朗氏 (高10) 歌手
 平成29年 南 雄二氏 (高20)

★は、相談役・顧問・学年世話役・役員懇談会での講演
 ※年代が定かでないところもあります。間違えがありましたらご了承ください。